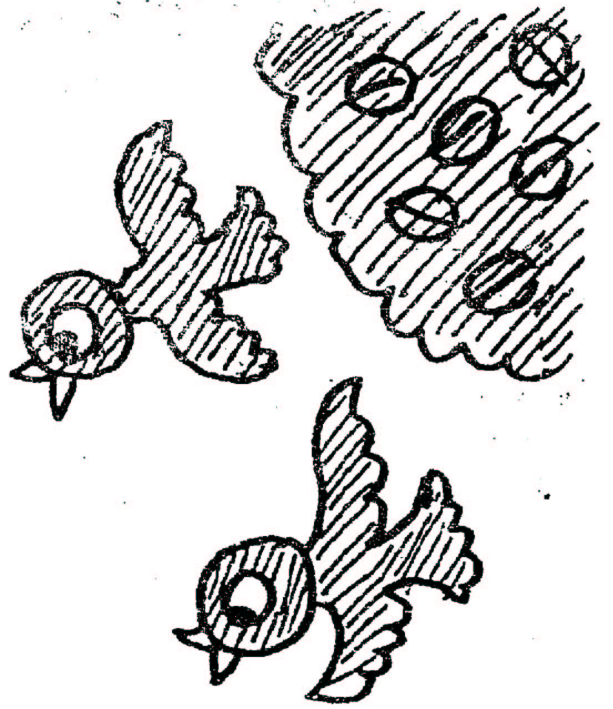


20th

1996.3.7 No. 56

ボランティア

会をつなぐ手



楽しい総会にしましょう

4月21日午後総会がひらかれます。3ページに
今村さんが書いたように問題はたくさんあります。みんな
で考えましょう。意見をえんりよなくどんどん出しましょう。
何よりみんなで楽しい総会に、みんなで作ればきっと道は
ひらけるのです。神さまのおみちびきで（ナニテ牧師おたにい）

大木松子

バザーお待たせしました

ようやく4月21日バザーとすうじことになりました

3月31日 1.00~
西新商店街で
(くわしくは6ページ)



アッサラム
アライクム



バングラデシュでは今　～～～

～～～　ラマダンと総選挙

ラマダンの月が過ぎました。同時に総選挙も終わりました。ラマダンというのは、イスラム世界の習慣で、大人のイスラム信者すべてに義務づけられています。そのラマダンとは具体的にはどんなもののでしょうか？　日本語では「断食月」と訳しますが、やせるのが目的ではなく、本来は自己抑制が目的なのです。この月には、病気、妊娠、生理、長距離旅行以外は、体力的に耐えられる大人はすべて、朝の4時半から日没まで、食べたり、飲んだり、たばこを吸ったり、異性関係を持ったりすることを厳しく禁じられます。昼間、レストランもほとんど営業していません。開いてても外から見えないように、カーテンを閉めて営業するのです。教育機関が休みになったり、一般企業や官庁は2時までの営業になります。このことは法律で決められているわけではありませんが、社会的に定着しているのです。

異例なことですが、今年はこの断食の月に（2月15日）野党抜きの総選挙が行われました。1年半前に野党が集団辞職し、政府の辞任を求めて、さまざまな形の運動を展開してきました。与党もまげずに、予定通り選挙を強行しました。予想通り与党が、2議席を除いて全議席を獲得しました。ラマダンの理念が結局負けてしまいました。与党も野党も、両方とも社会のためや国益を考えず、どうやって政権を握るか、そればかりを考えたとようです。この選挙の結果を世界各国がどう受け取るか、注目されています。

さてカラムディ村では何が起きているのでしょうか。1月10日ごろ新学年が始まり、子供たちは学校生活に慣れる前に、学校がラマダン休み（2月19日から）に入りました。これから学校では本格的な授業が始まるでしょう。他の年と違って今年、小学校の先生たちは赴任したばかりの教育指導員（元小学校長）の指導の元でラマダン中に、週2回の研修を受けました。きっと役に立つことでしょう。

診療所も順調に行っています。2月には6人の赤ん坊が診療所で生まれました。1月は4人でした。医師や看護婦たちは定期的に村に出て行って、衛生や栄養教育、出産前後の母親や赤ん坊の検診なども続けています。

● 運営委員会だより

先月号の私たち「バングラデシュと手をつなぐ会」の責任については、どの様に思われましたか？もちろん急に結論を出す問題ではありませんので、これからも皆さんとじっくりと話し合っていきたいと思っています。

さて、今月はもっと差し迫った事をお知らせしたいと思います。いま運営委員会では、大きくわけると次の3つのことで話し合いを続けています。

- 1) 事務所を移転する予定です。
- 2) 会の会計が少し苦しくなってきました。
- 3) 4月の総会が近づいてきてますので、来年度の計画や予算について会員の皆さんに議論していただくための、議案を作っています。

以上のことについて、それぞれ少しご説明しましょう。

・ 事務所の移転について：現在事務所として使わせていただいているのは、会の代表である大木さんのご自宅です。ところが、大木さんの個人的な理由により、来年度は継続的に事務所として使わせていただくことが難しくなってきました。そこで、運営委員会では、現在新しい事務所を探すと共に、事務のあり方についても見直しを行い、効率的な事務運営を行いたいと考えているところです。

・ 会の会計について：今年度の会計については、4月の総会において皆さんにご討議をお願いするところですが、収入が思うように伸びず、逆に支出が膨らみ、やや苦しい状態にあります。理由としては、募金が思ったよりも集まらなかった事、会員数の伸び悩み、各種援助や事業に対して会計からの判断や評価が足りなかった事などが挙げられます。カラムディ村と長いお付き合いをしていくためにも、会の台所事情を見直す必要があります。

・ 来年度の計画や予算：上記も含め会内外の諸般の理由から、事業、事務や会計についてそれぞれもう一度意味を問い直し、具体的な方法について組み立て直す必要が生じてきました。昨年11月ノルジャマン医師たちが来福された頃から、運営委員会では、ことあるごとに幅広く話し合ってきました。現在、その話し合いのいくつかの結論を、4月の総会において、来年度の事業計画案や予算案として皆さんへ提示することが出来るようにさらに議論を進めているところです。しかしながら、この作業には運営委員だけでなく、会員の皆さんのご意見も必要なのは言うまでもありません。どうか来年度の計画案づくりを行っている今こそ、運営委員会にお気づきの点やご意見をお寄せ下さい。「ここはこうした方がいい」とか「私はこう思う」「このようにしたい」等どのようなことでもかまいませんので、ご意見を郵送やFAX等でどしどしお送り下さい。

お願いします。

(3) (文責今村 和彦 FAX092-921-5845)

2月14日の朝日新聞に下の記事が載りましたので、ご報告と、個人的なコメントをさせて下さい。内容に関してはムニョムニョです。

私の書道の師が現地訪問中に亡くなりました。97才でした。2~3年前から痴呆症状があり、指導を受けることはなくなりました。虫の知らせでしょうか、現地訪問の前に手紙を書きました。数日後90才の奥様が「昌子ちゃんから手紙がきたよ、と読んで聞かせたけど返事が出せないからよろしく言っというて下さい。」と来られたそうです。それを聞いて涙が止まりませんでした。もう先生の運筆を見ることも、指導を受けることも無いと言う事を初めて実感しました。その様子を見ていた両親は、空港から電話したときも教えてくれませんでした。帰国して師の死を知らされ弔問に行った私に、奥様は戦時中のこと、日本に引き上げてきたときのこと、教室を開いたときのこと、沢山の思い出話をされました。70年連れ添った夫を亡くした奥様は、その後部屋にこもりがちになられたそうでした。難聴もあり、人との会話も少なかったそうです。そんな奥様が、私が載った記事を見つけ、魚の行商をしている母の元まで、「昌子ちゃんが載るとよ。あんたがたは朝日じゃなかろう。持っていかんね。」と新聞を持ってきて「じいちゃんが死んで、私もあの世に足を半分入れとったけど、これを見て元気が出たよ。」と言われたそうです。それがなにより嬉しかったです。これからも、微力ですが、皆様と頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

福岡県柳川市の看護婦森昌子さんに初めて訪れたバングラデシュは、想像を絶する世界だった。一九九四年のことだ。医療支援を続ける「バングラデシュと手をつなぐ



森昌子さん

看護婦として費用も自前で目覚ましい経済発展を遂げるアジアだが、その波に取り残され、貧困にあえぐ地域も少なくない。

会」(福岡市)のメンバー。別のボランティアの集まりで会の存在を知って入会、援助に向かった。診療所の前には毎朝、数百人が列をつくった。「生水を飲まないで」。いくら言っても、守ってくれない。うたる猛暑、食器に飛び込んでくる虫。疲れきった。三週間後、支援活動から戻った時には「とても続けられない」と思った。そんなとき、仲間から声をかけられた。「何をそんなに焦っているの。いつか何かが変わればいいじゃない」。昨年七月、二度目の支援に出た。

看護婦は、中学の時、祖母の死をきっかけに「最期、いるから」まで人間らしく生きる手助けがしたい」と選んだ道だった。一回の渡航にかかる経費は約二十万円。毎回、貯金をはたたく。友人は「なぜ、そこまでして」と不思議がるが、「看護婦だから」と答える。「飛行機でたった数時間のアジアには、自分の手で助かる人がいっぱい



内野小学校の国際交流クラブへ 村の中学生から返事が

福岡市早良区の内野

小学校では「国際交流ク

ラブ」をつくって現地訪問

の人たちに手紙とことづ

ました。その返事が村の中

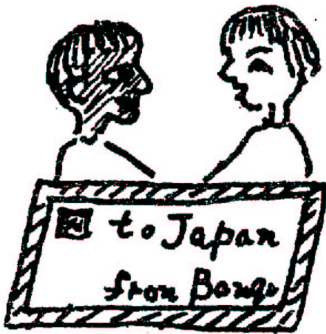
学生からちゃんと9通とど

いたのです。ちょうど今年

度最後のクラブの集まり

に間に合ったようではん

とつによかったと思いまし



東洋学園大学

バンングラデシユに

きこつと行きます。

一月なかばちょうど会場で上京し

たついでに千葉の東洋学園大学へ

行ってバンングラデシユとお話しま

した。女子学生さんたちは感動し

てきこつとものうちバンングラデシユへ

行きます。」とようこんで下さ

いました。この大学の先生と

ラフマンさんとたまたま知り

合ったのです。先生方の中

も自由な熱心な方が多いよ

うです。そのうちきこつと村へ行

きたいとみんな考えています。

手づくりの絵本を村の子どもたちへ

西南学院大学

西南大学児童教育科の野中さん

は去年の帰国報告会のと き入会

して下さいました。児童教育科では

教課の中に手づくり絵本の制作が

入っています。野中さんはクラスで

グループごとに手づくり絵本を

カラムディ村の子どもたちのために

つくろうと計画して

います。見本に持って

来た本をみると魚が

動いたり窓がめりたり

とても楽しそうでし

た。(大木)



城東・前原・小郡の各ロータリークラブから
合計40万円をいただき、送金させていただきました。ありが
とうございました。このお金は、学校の先生の手当の一部と、
第3小学校の校舎改善に使う予定です。

2月17日城東ロータリー、19日には小郡ロータリークラ
ブの例会にラフマンさんが出席して卓話を行い、参加者に会の
活動や、カラムディ村の様子を訴えました。

チャリティバザー間近に迫る!

恒例のバザーいよいよです。もう一度、押し入れ、納戸、
クローゼットをのぞいてみてください。

📅日時 3月31日(日) 午後1時

📍場所 西新商店街住友生命ビル前

📦物資搬入先 福岡市早良区西新5-5-13 (大木さん宅)

<お願い>

🍷 自宅で眠っている日用品、本、衣類、手作り品等をご提供下さい。

📦 古い衣類は、売れ残りの場合処理に困りますのでご遠慮ください。

📅 3月30日(土)大木さん宅で値段付けを行います。都合のつく方
は手伝って下さい。

📅 当日は12時からセッティング等準備をしますので手伝って下さい。

<連絡先> (大木) 092-822-5795

(高橋) 092-512-8351 (森) 0944-74-1162



NGO福岡ネットワークよりお知らせ

今年1月には、2回目のNGO福岡ネットワークの総会を開きました。また、2月3、4日には「福岡地球市民教育フォーラム」を、県内のいろんな開発教育団体とともに開催しました。手をつなぐ会からも8名が参加しました。ネットワークも各団体同士が親密になり、いろんな悩みを話し合ったり、これからの協力体制を語ったりしています。手をつなぐ会の会員の皆様も、どうぞお気軽にご参加ください。

次回は、

3月16日(土) 午後2時～5時

アクロス福岡3Fこくさいひろば 交流室A

内容：地球市民教育フォーラムを

今後にどのように生かすか？

'96 バングラデシュ現地訪問参加者募集中！

事前の準備のための会も始めました。

今年もカラムディ村現地訪問の準備を始めました。去年は母子保健センターの開設をはじめ、多くの成果をあげましたが、同時にいくつかの問題点もありました。特に訪問団メンバーおよび会員内部での事前の準備が足りなかったように思います。今年は2月から、「行きたい！」人が中心となって準備のための会合を始めました。もちろん「行きたい！」人も、行けないけど「こうしてほしい！」と言いたい方も、参加大歓迎です。

次回は、3月28日(木) 午後7時から

アンジェラスで行います。

(7)

《募金ありがとうございました》

燐風会蒲田支部 3,000円

《新入会された方々》

松田 幸子、村橋 良彦、島谷 玲子、中村

《物品販売に御協力下さい》



バン格拉デシュの

- 1)ティー・バッグ(50p) 300円
- 2)紅茶(葉っぱ) 600円
- 3)絵はがき 400円
- 4)テレフォン・カード 800円
- 5)刺繍(11c×15c) 500円

※寒い冬、ミルク・ティーにして召し上がるととても美味しいで

※額へ入れて飾ったり、何枚か合わせて袋にしたら如何でしょ

《108万円送金しました》

◎教育関係.....822,960円

1)奨学金(1年分)			307,800円
中学生	1名	135円/月	50名 81,000円
高校生	1名	1,080円/月	10名 129,600円
大学生	1名	1,620円/月	5名 97,200円
2)教育コーディネーター	1名	5,400円/月	64,800円
3)ジャパニー小学校の教師の給料の一部			4名 124,200円
4)新採用された教員	1名	4,860円/月	58,320円
5)第3小学校の教師の給料の一部			68,040円
6)夜間学級の教師の手当	5名×	1,080円/月	64,800円
7)ジョンダニの事務員給料	1名	6,750円/月	81,000円
8)ジャパニー小学校と第3小学校の設備			54,000円

◎医療関係.....739,800円

1)医師	1名	29,700円/月	356,400円
2)看護婦	2名	8,100円/月	194,400円
3)医師の補助員	1名	6,750円/月	81,000円
4)警備員			54,000円
5)事務費			54,000円

◎職業訓練費関係.....129,600円

1)ミシンの先生	1名	5,400円/月	64,800円
2)タイプの先生	1名	5,400円/月	64,800円

合計1,692,360円 このうち108万円を送金しました

なお一層の御協力をお願いします